

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス seednext		
○保護者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・建物古いが広く天井が高いため開放感がある。また、玄関や中庭には様々な木々があり、季節の移り変わりを感じることができる。 ・梅の収穫や梅干し作り、餅つき体験など、季節見応じた体験活動を行っている。	・毎朝、支援員全員で庭の清掃をし、美しい景観が保てるようにしている。 ・庭の果実を利用児が収穫し、昼食に提供したりする日もある。 ・家庭で難しくなっているような体験を事業所お活動を通して経験することができるようにしている。	・換気や消毒を徹底しながら、利用児が安全で健康的に過ごすことができるようにしていく。 ・庭木や草花など、季節の移り変わりと共に変化していくことを利用児と共有し、知識を広げていくことができるようにしていく。 ・家族や兄弟の参加もさらに呼び掛けていく。
2	・土曜や長期休業中の昼食作りを行っている、自分達が食べるものは自分たちで作ることを行い、より社会経験を広げられるようにしている。	・メニューに応じて、野菜を切ったり炒めたり煮たりと、調理体験を利用児全員で行っている。 ・どうすれば無駄なく食材を活用することができるか、節電などエコも意識しながら環境への配慮も意識付けしている。 ・野菜を自分で調理しながらおいしく食べることで、野菜をとることの重要性を伝えている。	・時間があるときには調理に必要な食材の買い出しから行っているが、その経験を積むことで、将来自分で調理することができるよう、調理が身近になるように導いていく。 ・予算の範囲内でどんなメニューが妥当であるのか、また、手軽で栄養も取れるようにするにはどうすればよいのか等、利用児自身が考えられるよう促していく。
3	・秋祭りやクリスマス会など、地域住民や他の事業所を招いたイベントを開催し、地域に開かれた場所である。	・「秋祭り」では調理品の販売や、縁日のような利用児や地域の子供対地を対象としたゲームコーナーを安価で提供しながら、地域住民の方にも開かれた事業所であることを示している。 ・「クリスマス会」では、他の事業所の利用児も招き、事業所以外の子供たちともその場を共有することができる。	・「秋祭り」では、ゲームコーナーの景品を利用児が作成したり、支援員が作ったものを売ったりすることができるようにしていく。また、チラシを様々なところに貼っていただいて宣伝し、多くの地域住民の方に来所していただくことができるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・長期休業中に事業所内でできることが少なく、課外活動が多くなってしまっていること。	・療育時間が長く、利用児のストレス発散や体を十分動かすことを重視すると、近くに公園がないので課外活動として遠方の公園に行って遊ぶことが多くなってしまっている。	・土曜日や長期休業中に、事業所の中庭を利用して作物を育て、観察したり、収穫し、調理して食べたりする、施設型の体験活動を来年度から入れていく予定である。
2	・建物が古く、安全面に配慮が必要な場面があったり、全体的に暗い印象であること。	・建物が古く、畳や床にささくれている時がある。 ・事業所までの道が狭く、また事業所内の駐車スペースも狭い。 ・電気が古いことや暖色系であるので、全体的に暗くなってしまう。	・日々安全点検をしながら、利用児が安全に療育活動を行えるようにしていく。 ・保護者や来訪者が駐車する場合は誘導する等、配慮をする。 ・順次、電気を明るいものに取り換えていく。
3	・場所が主要道路に面しておらず、場所がわかりづらい。	・説明をしてもなかなかわかりやすく、グーグルで調べてもらってもわかりづらいと言われることがある。主要道路から細い道に入るのだが、そこを通り過ぎてしまうようである。	・主要道路から細い道に入るところに看板を立てて、そこを目印にもらう。 ・施設に毎日のほりを立て、事業所があることをアピールする。